

いけだ

No.128

議会だより

令和2年10月28日発行



みのりの秋

みんなで はぜ掛け体験

稲刈りの大変さと楽しさを実感 池田小学校5・6年生



元年度決算 財政が厳しさを増す

元年度決算審査 P2~P3
補正予算の目玉事業 P6
常任委員会・本会議質疑・討論 陳情・請願審議 ... P7
9議員が町政をたずね（一般質問） P9~P15
町民の皆さんに聞く 裏表紙

新しい生活様式を取り入れましょう

「新しい生活様式」

- ① 一人ひとりの基本的感染対策
- ② 日常生活を営む上での基本的な生活様式
- ③ 日常生活の各場面別の生活様式
- ④ 働き方の新しいスタイル



議会だよりをスマートフォンで読む！
QRコードを読み込んでください

厳しさを増す！

歳出総額 79 億 6100 万円

9月定例会の概要

9月定例会は、9月7日から18日まで開かれた。令和2年度補正予算の承認1件、令和元年度決算の認定6件、令和2年度の補正予算など議案13件、人事案件諮問2件、同意1件の審議をし、議決した。意見書6件を国、県の関係機関へ提出した。

主 な 事 業

農業農村整備管理費

2億8703万円

うち 会染西部ほ場整備事業

7515万円

○工事工程表

工区	面積(ha)	工事期間
1工区	8.65	令和2年春～令和2年冬
2工区	9.32	
3工区	5.60	令和2年秋～令和3年春
4工区	4.49	
5工区	6.25	令和3年秋～令和4年春
6工区	6.03	
7工区	8.52	令和4年秋～令和5年春
8工区	4.87	
9工区	7.12	

会染西部地区(内鎌、十日市場、林中)にて水田の区画化や老朽化した水路の補修、改善等を目的に、県の経営体育成基盤整備事業を導入し、地権者の皆さんで実行委員会を設立し、事業を進めてきました。

ほ場 1～9工区▶



庁舎施設補修工事費用

909万円

公民館跡地ミニ公園整備事業

2895万円

老朽化に伴う役場庁舎の外壁補修工事が完了。また、旧公民館解体工事を行い、公園、緑地化を進めます。



旧公民館跡地、ミニ公園予定地

移住定住推進事業

5196万円

北アルプス連携自立圏で行う首都圏移住相談や移住促進広域パンフレットの作成、移住定住推進ツアー体験、移住定住補助金などです。



移住促進チラシ

プレミアム商品券事業

2484万円

住民税非課税者や子育て世帯を対象に、町内の消費喚起、下支えを目的に発行。プレミアム商品券管理委託料、商品券作成委託料、補助・交付金等です。



てるみん ふーみん

令和元年度 決算

元年度決算 財政が

一般会計・特別会計・歳入総額 81 億 951 万円
実質公債費比率は 11.8%、前年より 1.4% 増

一般会計の概要

令和元年度決算は歳入 61 億 8200 万円、歳出は 60 億 5300 万円で 1 億 2900 万円の黒字となった。社会資本整備総合交付金事業、農地耕作条件改善事業など令和 2 年度に繰り越した事業の財源 5300 万円が含まれる。実質収支は 7500 万円の黒字となったが、前年度の実質収支を引いた単年度収支は 1100 万円、また財政調整基金積立金と町債繰上償還金、財政調整基金取崩額 2 億 4900 万円を含めた実質単年度収支は△2 億 3700 万円となった。

令和元年度の

大型事業等で財政調整基金繰入れが続き、8 億円ほどあった残高が今は 1 億円 2400 万円となった。このままでは不測の事態に対応できず、来年度の予算編成も組めない状況に至っている。町は 3 億円削減プロジェクトを立ち上げ「既存事業の削減」を進めている。

しかし、町民福祉に関する削減等は認められない。説明責任を追及し、議会としての役割を果たしていきます。

**社会資本整備
総合交付金事業
町道251号線拡張工事**
9482万円

まちなかの様々な問題解決のため、池田町社会資本整備総合計画が進められ、町道251号線拡張工事が行われました。



あづみ病院前 道路拡張

**穂高広域施設組合
負担金**
2億3369万円

加盟6市町村(安曇野市、池田町、松川村、生坂村、麻績村、筑北村)で構成される穂高広域施設組合ごみ処理施設の更新に伴う分担金です。



完成間近の穂高クリーンセンター

花とハーブの里づくり事業

2396万円
**花とハーブの里
再ブランド化事業**
548万円

ハーブセンターの指定管理料、重機借上、水田使用料等の里づくり事業やブランド化に向けたPR動画作成、原材料費等です。



ハーブセンターラベンダー園

ここが
聞きたい

予算審査

質疑

令和元年の一般会計及び各特別会計、水道事業会計について、予算決算特別委員会で審議しました。
抜粋して審議内容をお知らせします。

令和元年度 一般会計決算

旧教育会館の改修費

問 日本アルプス国際学院が旧教育会館の使用を見送ることになった経過は。

答 今年2月に旧教育会館使用延期の連絡があり、2月27日に使用開始を今年3月から来年3月に変更契約をした。その後、3月31日に使用しない通知があり、協議し合意した。

問 旧教育会館に電気設備工事費237万円を町が負担した。その費用弁償と謝罪を求めないか。
答 専門学校に謝罪や負担を求めない。旧教育会館は、書庫や会議室として使用する。



日本アルプス国際学院

問 コロナの影響で専門学校の来年度の学生募集や経営状況はどうか。

答 入国制限のため、今後、外国人対象の募集は難しいので、再来年以降は、日本人専門学校にシフトしていくという話である。

町のホームページ

問 町のホームページを委託任せでなく、町民の発信やPR動画の工夫を。

答 ホームページの制作は職員が行っている。委託料は、サーバーのメンテナンスや利用料で、動画配信はYouTubeを使用している。

旧上原商店の跡地利用は



旧上原商店跡地

問 旧上原商店跡地の土壌調査に1262万円かけたが有効利用は。

答 わずかな汚染があるということで、風評被害の懸念もあり、今後最善策を考える。

移住定住者の集い

問 移住後のフォローが大事だがどうしているのか。

答 昨年度は移住者の集いができず、今年度は実施したい。

ふるさと納税返礼品

問 ふるさと納税の返礼品は何か増えているか。

答 ワインや米、カミツレが主力商品である。

問 ふるさと納税返礼品で米が不足した。今年はどうか。

答 収穫期は対応できるが、時期がずれると保管庫、冷蔵庫の整備が必要で現状では厳しい。

一時借入金利子の発生

問 一時借入金利子が6万1369円発生している。なぜ多額の利子が出たのか。

答 3月末の起債償還時期に資金が足りず借り入れをし、4月当初に交付金があり返還した。

要望 運用を誤るとタ張市のようになる。速やかに議会にも報告を。

ごみの減量は

問 人口が減少しているが、平成21年と比べて1人平均11g増えている。原因分析をしたか。

答 分析していないが、リサイクルできるものは可燃物にしないよう啓発していく。



ゴミステーション

町営バス委託料

問 町営バス運転業務委託料が4600万円強になっているが妥当か。
答 経費的に安い、内容は精査する。

海外販路

問 海外販路開拓推進事業の今後の見通しは。

答 今年度中に酒蔵と直接取引できるようにしたい。

イベント開催について

問 賑わい拠点施設と交流センターでのイベントが共通するものがある。連携して費用対効果を考え運営を。

答 来年度に向けて内容、予算を見直す。

サルの被害対策

問 松川村で導入したサル捕獲装置について町はどう考えるか。

答 移動設置にコストがかかるようなので、効果があるものを研究する。

福祉センターのボイラー

問 福祉センターの修繕費が毎年出ているが何か。

答 ボイラーが2台あり、湯が沸かない、水が減るなどの修繕である。ボイラーは1000万円と高額なため買い替えはせず、修繕をしている。

子育て相談

問 子育て相談で虐待通告や経済的困窮が前年の倍になっているが傾向は。 **答** コロナ関連の相談は増えていないが、今後生活困窮者が増えると思う。

在宅介護給付金

問 在宅介護給付金の評価をどう聞いているか。 **答** 給付金を頂いてよかったと数件聞いている。

除雪機の補助

問 除雪機の補助の内容は。 **答** 広津、陸郷は辺地に該当し、300万円の除雪機設置補助がある。広津はドーザーを購入し、鶴山と中之郷で58万円補助をした。



除雪機

町税などの未納の対応は

問 町営住宅使用料や町民税、水道料金などの未納に連携して取り組んでいるか。 **答** 課を超えて連携して取り組んでいる。

奨学補助申請

問 児童生徒奨学補助や私立高校生奨学補助の申請期間が短かった。1か月以上の期間で情報発信を。 **答** 要綱では10月1日が基準日である。今後余裕をもって知らせる。

会染保育園のエアコン設置

問 会染保育園のエアコン設置は、温暖化が進む中必要ではないか。 **答** 会染保育園は、高圧受電設備の導入が必要で、高額のため難しい。



改修が急務な会染保育園

要望 学校に整備され、保育園にないのは疑問。継続して可能性を探ってほしい。

令和2年度一般会計補正予算

災害の備えは

問 防災備品で発電機が不足と思うが。 **答** 予算の中で検討する。自治会は町の補助事業で購入している。

問 役場北にある緊急電源設備の洪水対策を。 **答** 新しく高圧受電設備を1基作る必要があり、高額で現在考えていない。



グリーンベルト工事が行われる安曇擁護学校前

交通安全対策

問 グリーンベルトの設置場所と池田小学校周辺のゾーン30の進捗状況は。 **答** グリーンベルトは、安曇養護学校前の横断歩道東側の北の交差点まで約275mをグリーン

に塗装する予定。ゾーン30は大町警察署と現地を確認中である。

インフルエンザ予防接種

問 インフルエンザ予防接種の高齢者の費用負担は。 **答** 個人の負担は1200円であとは公費負担。未就学児は、1人あたり2回接種して1000円である。

事業所の感染予防補助金

問 感染予防対策事業補助金の対象となる情報提供を。 **答** 対象品の選定は、各店舗、事業所が必要とするものに任せる。対象期間は令和2年3月1日から10月30日である。

令和元年度国民健康保険特別会計決算

特定検診

問 特定検診受診率が、地区でばらつきがあるが、今後の取り組みは。 **答** こまめに訪問しているが地域差が出る。引き続き呼びかけをする。

予算決算特別委員会審査意見

1、財政運営について

令和元年度決算は、社会資本整備総合交付金事業や農地耕作条件改善事業など大型事業に取り組み、厳しい財政運営となった。財政調整基金も令和元年度末残高が4億4246万円となり、今後、厳しい財政運営になる。行政は住民のサービス向上及び福祉の充実にあることを再認識し、堅実な財政運営に努められたい。

3、業務委託料の入札方法の検討について

業務委託料の中に金額的に競争入札すべきものが随意契約となっているものがある。効率的な行政運営のため業務委託料の入札方法を検討されたい。

2、専門学校整備事業について

4、旧上原商店の跡地利用について

日本アルプス国際学院から旧教育会館を使用したいとの申し出があり、町は旧教育会館の改修費として令和元年度237万円支出した。しかし、令和2年3月31日、学院から旧教育会館を使用しない通知があり、町はやむを得ないとした。しかし、利用契約を簡単に解約することは、社会通念上許されない。今後、町は学院にこのような契約違反を起こさないよう求めてほしい。

旧上原商店の跡地は1262万円をかけて土壌・地下水調査を実施した。早急に有効な土地利用を検討されたい。

令和2年度一般会計補正予算の目玉

予防接種(インフルエンザ)事業 940万円

高齢者等インフルエンザ予防接種委託料および補助金等
財源：町一般財源



新型コロナウイルス感染予防対策事業補助金 500万円



コロナ流行予防のために、町内に店舗・事業所を持つ事業者が対策用に購入した機材の経費に対し、上限20万円の補助金を交付する。
財源：町一般財源

補助金対象の例としての除菌用アルコール噴霧器

観光一般経費 △578万円

カミツレ花まつり、ほたるまつり等のイベント中止による池田町観光推進本部負担金の減額、ワインまつり中止によるワインまつり実行委員会補助金の減額



カミツレ花まつり

住宅リフォーム促進事業補助金 500万円

町内の施工業者による住宅リフォーム工事に対して上限20万円の補助金を町民に交付。
財源：町一般財源

7月全員協議会での報告(7月15日)

ハーブセンターのガラス温室改修工事の実施設計の業者を選択するための審査会の報告。名古屋市のナノメートルアーキテクチャーが選ばれた。今年度は500万円の予算で設計業務が行われる。



ハーブセンターガラス温室

常任委員会 総務福祉委員会

●議案 執行機関の附属機関設置等に関する条例の一部改正
「健康長寿推進協議会」の設置について審議。

問 子ども子育て会議委員20名、健康長寿推進協議会委員15名とした人数の根拠はあるのか。

答 議論をしてどのように進めていくかというところの人数を一番に考えた。また、各セクションでおよそどのくらいの人数がよいかということになるので人数を決めた。

振興文教委員会

●議案 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

意見 連携協定を結ぶ期間が、5年から10年になる規制緩和は、子どもにとってよいこととは思えない。また、0歳から3歳未満の子どもの食について、外部搬入することは、安全面で不安もあり賛成できない。

本 会 議 質 疑

【認定】令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定

問 不納欠損額が昨年の3分の1となっている理由は。

答 令和元年度は不納欠損が少なかったためである。

問 令和元年3月決算時、各部署がなるべく予算を使わず予定以上の削減ができた。その理由は。

答 予算見積は歳入は厳しく、歳出は余裕をもって行っている。さらに節減につとめたため不用額として出たためである。

本 会 議 討 論

〈令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定〉

服部久子 議員

反対です

町は旧教育会館と公民館跡地にミニ公園の計画を進めていたが、日本アルプス国際学院から、旧教育会館を使用したいとの要望があった。町は旧教育会館に約237万円の費用をかけて電気設備工事を行った。しかし、令和2年3月末に、学院から使用しないとの通知があった。国際学院の姿勢は、非常識である。町は、専門学校の通知をそのまま承諾し、学校に対し何の措置も取らなかった。町は二度とこのようなことが起きることのないよう、国際学院に対して毅然とした姿勢で臨むべきである。

また、会染保育園の改修について、保護者から改善を求められているが、町は結論を先送りしている。園児のことを第一に考え、早急に改修を行うべきである。

薄井孝彦 議員

反対です

旧教育会館は、取り壊しが決まっていたが、国際学院より介護福祉学科として使用したいとの申し出があって、計画を変更した。改修費を町が出資したにもかかわらず、本年3月31日に、契約破棄の通知があった。旧教育会館はいずれ取り壊さなければならない時期がくる。社会資本総合整備交付金事業は、事業費の約40%が国から交付され、当初の予定通りにすれば、町の取り壊し費用の負担は約6割で済んだ。今回町が契約破棄に対して、責任を問わないという対応は納得できるものではないため、認定できない。

〈家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定〉

服部久子 議員

反対です

家庭的保育事業は、職員は保育士でなくても町長が同等と認めるとなっており、保育基準が低くなる。また、給食は外部搬入を認め、アレルギー対応などが懸念される。町では、待機児童がいないので、家庭的保育事業の必要がないため反対する。

陳 情 ・ 請 願 審 議

（請願）国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願書

審査結果 採択

（請願）義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書

審査結果 採択

（請願）「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書

審査結果 採択

（請願）種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める請願書

審査結果 採択

〈陳情〉コロナ禍で学ぶ子どもたちに、少人数学級と豊かな学校生活の保障を求める意見書提出の陳情

審査結果 採択



主な議案の説明と 審査結果

9月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

		審査結果	松野亮子	大庭美秋	中山 眞	横澤はま	矢口 稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	那須博天	倉科栄司
承認	令和2年度一般会計補正予算(第5号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定	令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—
	令和元年度工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和元年度水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案	土地開発公社の解散(公共用地等の先行取得に対する利点が無くなったため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定(非常勤特別職に健康長寿推進協議会委員、認定子ども園入園及び在園児童審査委員会委員、教育委員会就学支援委員会委員を加えるため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	執行機関の附属機関設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	児童クラブ設置条例の制定(池田児童クラブと会染児童センターを児童福祉法の設置目的によりそれぞれ別の条例で規定したいため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	児童センター等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意	令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問	教育委員会委員の任命 松澤範明氏(再任)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること 縣美智子氏	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること 田中学氏	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	コロナ禍で学ぶ子どもたちに、少人数学級と豊かな学校生活の保障を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	種苗法の改正について慎重な審議を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情	コロナ禍で学ぶ子どもたちに、少人数学級と豊かな学校生活の保障を求める意見書提出の陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※倉科議長は表決には加わりません。

一口メモ 請願(陳情)の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと
表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)議長は表決に加わらない。

9 議員が町政をただす!

ここが聞きたい

9人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

今回は新型コロナウイルス感染防止対策のため、1人40分の制限時間内で質問しました。

質問者	質問事項
中山 眞 議員	・ 総合計画重要課題の一つ、まちなか活性化について ・ GIGA スクール構想の進捗状況は
大厩美秋 議員	・ 防災行政無線と屋外消火栓の管理について
横澤はま 議員	・ 食からつなぐ未来～健康長寿延伸のまちづくり
那須博天 議員	・ 町長の2期目で農業政策の取り組みは ・ 小学校2校の統合は
薄井孝彦 議員	・ 町の「事前防災行動計画」作成について ・ 高瀬川の想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づく避難対策などについて ・ 高齢者世帯の非常時における緊急連絡支援対策について
服部久子 議員	・ 介護施設、保育園、学校などの職員にPCR検査を ・ 会染保育園の建て替えを早急に ・ ゴミ集積所の設置基準の改定を
大出美晴 議員	・ 町民への情報発信について ・ いけ弁の今後について
矢口 稔 議員	・ 財政状況の改善に向けた取り組みについて ・ コロナウイルスとの共存を見据えた感染症対策について
松野亮子 議員	・ 町のサル対策について



まちなか活性化の
取り組み姿勢

中山 眞 議員

問 総合計画2番目の柱、まちなか活性化の取り組み状況は。

答 かつて商業の町として栄え、にぎわいを見せていたまちなかも、生活様式の変化により、空き店舗が増加し、にぎわいが失われつつあることを認識している。町と商工会で連携し、商工会による経営指導や創業相談、町の創業支援制度の創設、にぎわい拠点施設の活性化の推進で、商業振興に取り組んでいる。今後、中小企業・小規模事業者振興円卓会議で、実効性のある政策を検討していく。

問 商業活性化は大事だが、若者アンケートでは5割以上が「Uターン希望で、戻る気はない、わからない」、「まちなかのにぎわい評価では、不満、やや不満」と回答している。空き店舗、空き家対策を含め、若者が住みたいと思うきれいな街並みをどう造っていくのか。

答 空き家は環境的・防災的・景観的側面で問題を抱えている。平成29年度から空き家バンク制度の運用で取り組んでいるが、他部署や自治会等様々な方面と連携し推進していく。



防災行政無線と屋
外消火栓の管理は

大塚美秋 議員

防災行政無線のメンテナンスは

問 災害発生時、速やかに町民へ音声として情報伝達が行われる重要なシステムであり、停電時も正常に機能しなければならぬ。保守管理について聞く。

答 年に1回、送信局と無線子局（屋外スピーカー）の保守点検を行っており、送信局は86時間、無線子局は24時間対応の非常用電源を備えている。

問 戸別受信機は、各戸での点検管理になるが、受信ができない等の不具合が生じた時の町の対応は。

答 電波状態が悪い場合は外部アンテナの設置、また受信機の交換等を個別にサポート対応している。窓口は総務課の危機管理対策室になる。

問 戸別受信機が正常に聞こえるか、定期的に試験放送の実施と、取り扱いや停電時の重要性の周知は。

答 広報等へ掲載する方向で考える。



健康長寿推進に
「食育条例」の制定
を

横澤はま 議員

問 健康長寿を実現するために、全町挙げて取り組む食育推進に「町食育条例」は不可欠と考える。条例制定につき町長はどのように考えているか。

答 健康長寿を実現するために、食は大切と感じている。職員と力を合わせ、よりよい池田町らしい条例ができればと願っている。

問 持続可能型社会の実現（SDGs）の理念を踏まえた町の食の未来をどのように考えるか。

答 今ある計画を誠実に実践していくことが重要。健康長寿推進会議で食育推進計画や健康増進計画等に基づき、行政、関係団体、町民との共同の実施をPDCAサイクルで評価、見直し検討していく。そうすることで一歩ずつSDGsの理念が達成できると思う。

問 健康寿命を伸ばすために、地域挙げての食生活改善は。

答 減塩活動を進める事は課題である。健康長寿推進協議会を立ち上げ、情報発信も含めた具体的対応等について、検討していきたい。



池田の街並み



※ICTとは…
インフォメーション・アンド・
コミュニケーションテクノロ
ジー(情報通信技術)の略
IT(情報技術)にコミュニケーションの
要素を加えたもの

問 令和時代のスタンダードな学校像として、ICT※環境の整備が進められている。児童1人に1台の端末を含め進捗状況は。

答 学習用端末の整備は入札まで終了。現在ソフトウェアの選定等進めている。学校のネットワーク環境は、大容量通信環境に切り替え整備中である。

問 教育の原点は平等性。家庭でのICT機器の準備やWi-Fi整備、IT知識の差等で保護者たちの不安がある。オンライン教育指導方法等も含めどう解消していくのか。

答 教職員の意識改革、目指すべき教育を議論、検討していく。また家庭でのインターネット通信料や機器のレンタル料等を就学援助制度の要綱改正に盛り込んだ。ICTアドバイザーと業務委託契約を結び、学校現場のサポート、保護者への説明会を通し、意思疎通を図っていく。

IGA スクール構想の進捗状況は

問 令和時代のスタンダードな学校像として、ICT※環境の整備が進められている。児童1人に1台の端末を含め進捗状況は。

答 学習用端末の整備は入札まで終了。現在ソフトウェアの選定等進めている。学校のネットワーク環境は、大容量通信環境に切り替え整備中である。

問 教育の原点は平等性。家庭でのICT機器の準備やWi-Fi整備、IT知識の差等で保護者たちの不安がある。オンライン教育指導方法等も含めどう解消していくのか。

答 教職員の意識改革、目指すべき教育を議論、検討していく。また家庭でのインターネット通信料や機器のレンタル料等を就学援助制度の要綱改正に盛り込んだ。ICTアドバイザーと業務委託契約を結び、学校現場のサポート、保護者への説明会を通し、意思疎通を図っていく。

屋外消火栓の管理は

問 町には、458基の屋外消火栓がある。1年あたり7基の修繕予算では老朽化に歯止めが利かない。町の対応は。

答 予算の中で、点検表を基に優先順位をつけて修繕交換をしている。開閉弁のきつい消火栓修繕は現在計画している。消防団、消防署、危機管理対策室は、しっかりと連携がとれて点検できていることを確認できた。あとは遅れることなく修繕できる体制を町に望むが。

問 すべての消火栓が正常に動作することとは重要である。今後町民の安心安全のために管理に努めていく。

答 すべての消火栓が正常に動作することとは重要である。今後町民の安心安全のために管理に努めていく。



停電時のために乾電池の準備を!(単1か単2を2本使用)

問 食育推進計画が令和3年度で終わるが、これまでの施策の評価・課題は何か。

答 評価は、子育て会議の中で令和3年度アンケートにより評価することになっている。課題は、アンケート結果や生活習慣の問診、死亡、介護、医療、子ども・成人の健診結果の実態から、課題を健康長寿推進協議会の中で検討していく。

問 調理や栄養改善講習会、情報提供など、さらに地域におろして欲しいが。

答 調理や栄養改善等、様々な講習会、キッチンクラブ野菜の収穫、料理体験離乳食教室、バランス食教室等行っている。自治会単独での講習会は保健補導員企画による食の教室があり、食を楽しむ会、地域担当保健師、栄養士とともに対応している。より多くの地域で開催して頂けるよう保健補導員、分館長の方に重要性を伝えていきたい。



食育(米一粒の尊い命)



町長は農業政策の
取り組みをどの様
に進めるのか

那須博天 議員

問 農業生産者の高齢化が進み、後継者もいないところが多くなっている。補助制度の強化を行い、農業生産者の確保を行う考えは。

答 全国的に農業者の高齢化や後継者不足は大きな問題となっている。農業生産者の確保として北アルプス支援センター、JA、農業委員等で構成するサポートチームにより、様々なサポートを行う最長5年間の国の補助金を活用する。町単独での補助は考えていない。

問 会染西部地区ほ場でブドウ生産予定の人がおり、ワイナリーの希望をもっている。町はワイナリーへの支援をどのようにするのか。

答 ワイナリーは設備投資が小規模で新規雇用も少ないと考えられる。工場誘致に関する条例を改正し、助成金を交付する指定基準を緩和した。自分のワイナリーの夢をもち、ブドウ栽培を始めた方々と連携を密にし、個々の要望を聞いて対応していく。

問 ほ場整備地区に、非農業用地として町が確保する所がある。この活用をどのように考えるか。



洪水時「逃げ遅れ
ゼロ」の避難対策を

薄井孝彦 議員

問 昨年、県が公表した最大想定規模降雨時の高瀬川浸水想定図を見ると、高瀬川平坦部ほとんどが浸水状態となる。洪水時「逃げ遅れゼロ」にするため、高瀬川流域タイムライン、町・自主防災組織・家庭のタイムライン作成の取り組みを。

答 先日、千曲川流域タイムライン（※）が国から公表されたので、高瀬川タイムラインは県が中心となり来年度作る。これを受け、町タイムラインを作り、自主防災組織・マイタイムライン（家庭の避難先を決めた防災行動計画）の作成にも取り組む。

※洪水が想定される場合、関係機関（国・自治体・電力会社など）がとるべき行動を整理した防災行動計画。情報共有化で「逃げ遅れゼロ」に役立つ。

避難行動要支援者への対策を

問 洪水時、避難行動に支援を要する人（以後、要支援者）は何人いるか。また、そのうち避難に協力する人を決めてある「個別支援計画書」が作成されているのは何件か。



介護施設、保育園、
学校の職員にPCR
検査を

服部久子 議員

問 介護施設、保育園、学校などで、コロナウイルス感染症の陽性者が出るに休業に追い込まれる。また、高齢者は重症化する恐れがある。体が触れ合うことが多い施設の職員にPCR検査を求めるが、検査体制、検査費用など課題が多く困難である。

答 病院や自治体で全自動PCR検査機器を導入して、多数の検査に取り組んでいる例がある。広域連合で機器を購入し、大町総合病院で検査ができないか。大町総合病院で検査ができるようになる。広域での対応は考えていない。

問 会染保育園の建て替えを早急に

答 幼児教育あり方研究会で会染保育園の未満児を池田保育園へ、3歳児から5歳児は、会染小学校、池田小学校に分散する案が出ている。会染地区に保育園を建設しない方針か。

問 会染地区に不利になる結論を出すつもりはない。保護者、教職員、町民と懇談を重ね、今年度末までに基本方針を出す。

答

防災機能を併せ持つ多目的広場として位置づけさせている。用途、内容は確定していない。既存施設の利用状況や維持管理費なども参考に、地域の振興に資する施設も考える。

小学校2校の統合は

問

児童数減少により小学校2校の存続は厳しい。統合の検討が必要では。

答

1月スタートした第2次教育大綱が完了する15年後、2035年の両小学校児童数合計は約290名と推計し、現在の会染小より60名以上多い。この人数の児童が一つの学校で学ぶことは、町が目指す教育大綱の理念に反するばかりではなく、個別教育の重要性に逆行する。少子化の要因や効率性を優先する発想だけで、2校の統合はしない。



工事が進む会染西部ほ場整備

答

要支援者は約470人で、「個別支援計画書」は2件で作成されている。

問

町の要支援者名簿に協力者の氏名を記載するなどして対策の強化を。

答

近く関係機関で避難対策を検討する。

一人暮らしの方などへの非常時緊急連絡支援体制の検討を

問

一人暮らしの方などの非常時緊急連絡対策として、事前に緊急連絡先を社協に登録いただき、その旨を玄関先にシールで表示している例も聞く。町も支援対策を検討できないか。

答

大北5市町村で設置した「在宅医療・介護連携センター」が北アルプス広域消防署と、緊急連絡体制の実施に向け検討している。



松本市社協四賀地区センターの非常時緊急連絡先の玄関シール

問

会染保育園は、エアコンがない教室があり、雨漏り、壁のひび割れの問題がある。早急に改善を。

答

エアコン設置には高圧変電装置が必要で1千万円以上が見込まれ、該当する補助金がない。熱中症対策を講じていく。

ごみ集積所の設置基準の改定を

問

ごみ集積所の新規設置は、自治会要望を条件としているが、町が住宅と集積所の状況を見て設置の判断を求めるが。

答

原則として既存の集積所の利用を求めるが、居住実態の変化もあり、状況を見て個別に検討していく。



老朽化した会染保育園



コロナ禍を機に情報発信の方法見直しを

大出美晴 議員

問 回覧板での情報伝達に疑問を持つ人がいる。コロナウイルスの影響で、今までの暮らしや生活習慣がいろいろと見直されるようになった。これを機に、情報発信の方法を見直してみてもいいか。

答 現在、町からの広報手段として「広報いけだ」をはじめ、配布チラシ、ホームページ、メール配信、防災情報無線等がある。幅広い年齢層への伝達の必要性があるため、紙面、データ、放送で提供しているのが実情である。今年4月より「ヤフー防災情報」での発信を開始した。さらにメール配信に加え、公式ツイッターを開設し、行政情報や災害情報をリアルタイムで提供している。将来的には紙面配布に替わり、データ配信が主流になる時代が来ると予想される。新たな時代に即した情報提供ツールについて、アンテナを高くしていきたいと考えている。

いけだの今後について

問 飲食店のテイクアウトを集荷配達するという「いけだ」。この配達のおかげでコロナウイルスにより沈んでいた家庭に笑顔が戻ったという話や、それぞれの



財政状況の改善に向けた取り組みは

矢口 稔 議員

3億円削減プロジェクトの内容は

問 役場庁内で「3億円削減プロジェクト」が立ち上がった。一般会計の約10%弱の大きな金額である。補助金を含め、町民の皆さんに直接影響が及ぶ可能性がある。プロジェクトの目的、目標は何か。

答 大型事業が重なったため、財政調整基金の繰入に頼った予算編成を組まざるを得ない状況が続いている。来年度予算は基金に頼らないよう今から計画したい。本年度の一般会計51億円の予算見込みのうち、財政調整基金繰入が3億3千万円なので、まず3億円を削減目標とした。

問 人件費等の削減を含んだ聖域なき改革を町長として進めていく気持ちはあるのか。

答 非常に厳しい状況で、町民の皆さんには大変無理を強いるというような状況になってきている。当然その裏には人件費等について厳しい算定を行ってまいりたい。

新型コロナウイルス対策
インフルエンザワクチンの接種見直しは



町のサル対策は

松野亮子 議員

問 町は今年度の予算で、GPS発信機による行動監視システムの導入を準備中である。サル対策をつまく進めるには被害地区住民の地道な活動と、それに対する町行政によるサポートが必要である。効果を上げるためには計画段階から住民の意見・意向を聞くのが重要だが、意見聴取の実施状況はどうなっているのか。

答 サルが出没している集落の住民対象にサルの生態や被害等の講習会と意見交換会をなるべく早く開催したい。サル対策事業は住民と協働で取り組みたい。

問 GPS発信機を付けたサルの位置が分かる地図がシステムによって提供されることになる。この地図は被害地区の数人だけでなく、誰でも閲覧できるように町のホームページに載せることはできないか。

答 不特定多数の方が一度にアクセスすると容量をオーバーする恐れがあるため、接続できる人数は制限したい。

問 多少電池寿命が短くなっても、住民のサル追いにも活用できるようGPS発信機のデータ送信間隔を30分程度に設定すべきでは。

飲食店の弁当を食べ比べながら評価することで、家の中に会話が増えた、という話も聞く。そこで官民協力の道を探りながら長く続けられないか検討を。

答 いけ弁は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休業要請や外出自粛等により、特に飲食店の経営状況が悪化したため、イベント開催を見合わせていた観光協会の人員をいかし、コロナ禍が落ち着くまでの取り組みとして9月までの予定で実施した。4カ月経過した今でも多くの利用があり、継続を要望する声が多い。事業継続をした場合、観光協会の本来の仕事が増えた時、継続が困難となる。集配方法を町民や民間事業者と連携した形態に見直し、継続したいとの意向を確認している。観光協会の一時的なサービスにとどまらず、ビジネスベースに乗せ継続できる事業としてスムーズな民間業者への移行が図れるよう、一体となって取り組みたい。



いけ弁号

問 新型コロナウイルスの勢いが収まらない。インフルエンザとの関係で、町民の皆さんが安心してワクチン接種ができるよう、何らかの基準が必要だと思つが。

答 9月中旬に厚生労働省からメールが届いた。あくまでも目安ではあるが、10月以降、年齢や基礎疾患の有無などで接種開始日の基準が示されていた。町内の医師と相談し、周知内容、方法を検討したい。

非接触式の水栓導入を

問 学校や公共施設の水道水栓はハンドルがあるものがほとんどである。接触を避けるために非接触式の水道水栓に国の交付金を活用して導入を望むが。

答 現在各事業所へ、コロナ対策品購入補助事業を実施している。今後新たな交付金が出た場合、非接触式水栓の導入を優先課題の一つとしたい。



痛みが激しいトイレの水栓
(ハーブセンター)

答 GPS発信機の電池寿命は1年で、設定条件によってはさらに短くなる。

GPS発信機は電池交換・充電ができないため、電池切れの場合は新たな発信機を購入し、業者に取付を委託しなければならなかったため、数十万円の費用がかかる。費用対効果と他市町村の運用状況を参考にします。

問 サル追いに必要な道具が町からまったく供給されていない。大町市では必要な道具は貸与されている。

答 消耗品については、ロケット花火、爆竹を提供しているが、サルの出没回数も増え、費用も増えている。道具の貸し付けはできていない。出没頻度の高い地区は中山間直接支払交付金の対象地区と重なるため、その交付金を有害鳥獣の追い払いに活用するよう対象地区に願います。



GPSをつけるための
サル捕獲用オリ

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第16回 —



たなか みきえ
田中美喜恵さん（内鎌）

活動内容

大正8年11月25日生まれ100歳10ヶ月
旧明科町出身 趣味：野菜づくり

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

百歳を迎えて

私は昨年無事百歳を迎えることができました。総理大臣始め、各関係者からありがたいお言葉、記念品をいただき、深く感謝しております。振り返ってみると、次々と移り変わる世相に翻弄されながら、よくぞ耐えながら生きてきたと思います。人々の温かいご支援とご協力の愛情で守られてきました。その私を育てていただいた池田町が好きです。今、この年になってみて思えます。自分の一代でできずいたドラマを見るようにでなつかしみを覚えます。

子孫に残す贈りもの

内鎌には、百年以上続いた千びょう作りがありました。時代の変化と人手不足で、いつの間にか途絶えてしまいました。せっかくの名をあげた伝統野菜

を復活させようと、内鎌の若い衆が立ち上がり、見事な製品が店頭に並ぶようになりました。保存がきき、煮物に

良し、土産品にも良し、重宝な品です。数年前、その工程の一部始終を私も夫婦二人がテレビで放映され、誇りに思いました。私の若い頃に町で自分誌講座ができ、そこに出席して書きとめた文集のつづりを、せっかくなので本にまとめたらと、子どもたちの強い要望で製本しました。ありのままを正直にかざり気なく書くことを基本に、私の生きざまを子孫に残す贈りものとなりました。

人生谷深ければ山高し！

明科町から嫁に来て、たった七か月の新婚生活で夫を戦地へ送り、そして戦死。父親を知らない娘をかかえ、両

親は年老いているため、23歳の若さで、地区の行事、婦人会、その他女性が世に出ることは、地獄だと思ったものでした。二年後周りにせめられ、夫の弟と一緒にいました。これも戦争による犠牲です。二人で必死に働いてきました。幸い二人とも丈夫な体で病氣もせず、四人の女の子を育ててきましたが、当時女の子ばかり生んだことに後ろめたさがありました。しかし今となっては、女の子が実家を思い何かと助けてくれますので、女の子で良かったと思っています。また後継ぎの娘も女の子ばかり三人産みましたが、その子たちも協力者です。そして、その内の二女家族五人がわが家の後継ぎになってくれましたので、今後も安心して生きていきます。昔はつらいことも多々ありましたが、今は最高に幸せですし、丈夫な体に産んでくれた親に感謝です。私は野良仕事が好きで働くことができていますし、介護は全く必要ありません。人生谷深ければ山高し！



〈表紙の写真から〉

「みのりの秋 みんなではぜ掛け体験」―池田小学校―

9月24日、5月下旬に植えたモチ米の稲刈りを行いました。今年は5年生33名、6年生29名の2学年合同チーム。広さ500㎡の田んぼに子どもたちの元気な声が響きます。農業委員会の皆さんの指導のもと、「ザクッと株を切る感じが楽しい！」「稲わらが重い！」と話ながら、みんな協力して取り組みました。

清水令子校長は、「校外の学習で本物に触れながら学んでいってほしい。米どころの池田町で何らかの形でこの経験を生かしてほしい」と話していました。

編集後記

今年も8月の猛暑、9月の雨と天候も安定しませんでした。町も大型事業が一段落しこれからの財政運営が大変になっていきます。今回は令和元年度の決算認定を中心に作成しております。令和3年以降の予算編成に生かせる意見が出せるよう議会も頑張ります。町民の皆さんの意見をお寄せ下さい。

（那須博天）

議会報編集特別委員会

委員長 矢口 稔
副委員長 中山 眞
委員 松野 亮子 大出 美晴
服部 久子 那須 博天

次回議会だより発行は令和3年1月27日(水)を予定しています。ぜひ、御覧ください。